

## 一般質問

議員 6 人

# 町政を問う

一般質問は、執行機関が提出した議案と関係なく、町の行政全般にわたって、議員個人が執行機関に質問し、見解を求めるものです。

吉岡町では、質問および答弁をあわせて、1人60分以内の持ち時間があります。

本会議の様子を生中継、  
録画でも配信。



アクセス方法は

吉岡町議会

検索

### ■飯塚 憲治 議員（10ページ）

1. 老人会消滅の事態に今後どのように対処してゆくのか
2. (株)吉岡町振興公社の経営方向について
3. 待機児童の解消計画のその後は

### ■廣嶋 隆 議員（11ページ）

1. 林道栗籠井堤線について
2. ICT教育について
3. 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について
4. 吉岡町が週刊誌に掲載された件について

### ■小林 静弥 議員（12ページ）

1. 新型コロナ関連について
2. 町民の安心安全について
3. 町政について

### ■坂田 一広 議員（13ページ）

1. 食品による子どもの窒息事故について
2. 町のインフラなどの整備について

### ■金谷 康弘 議員（14ページ）

1. 都市計画関連
2. 教育関連

### ■小池 春雄 議員（15ページ）

1. コロナ対策助成制度
2. 新年度予算編成
3. 給食費無料制度



いつか けんじ 飯塚 憲治 議員



録画映像はこちらをCHECK

# 老人会消滅町の対策と支援は

**問** 老人会の消滅ほか、各種のグループ活動が低下傾向。町の対策と支援は。

**答** 介護福祉課長 社会福祉協議会と連携を図る。役員選定時には支援し、負担なく活動が続けられる工夫、魅力ある活動内容の検討など相談に乗

# 魅力ある活動内容へアドバイス

**答** 町長 住民団体と行政が協働した地域づくりが重要と考える。アンケートやワークショップの開催などを

**問** 希望化する地域社会の連携と、町民のつながりを保つための町の役割は。

**答** 町長 住民団体と行政が協働した地域づくりが重要と考える。アンケートやワークショップの開催などを



みんなで仲良く筋トレ中（駒寄老人クラブ）

実施し、皆様の意見を政策に反映させていく。

**答** 住民課長 住民参加のふれあいの場づくり、支え助け合い

などボランティア活動の支援を検討。来年度には町制30周年記念イベントなどを計画している。

## よしおか温泉の営業方針の検討は

### 答 総合的優位性を発揮させる

**問** よしおか温泉の営業方針の変更検討は。

**答** 町長 コロナ禍の厳しい状況だが、スポーツ・レジャー・温泉・食事・休憩機能

などの総合的優位性を発揮させ、運営努力を重ねている。

**問** 通年券の廃止、サウナなど設備故障によるサービス低下の回復策は。

**答** 町長 コロナ禍の厳しい状況だが、スポーツ・レジャー・温泉・食事・休憩機能

などの総合的優位性を発揮させ、運営努力を重ねている。

**答** 産業観光課長 サウナは本年度に工事設計、来年度に取り換え工事を行う。通年券はこれに代わるサービスを検討中。その他の改善要望も利用者の満足度向上に努めていく。

**問** 温泉利用料金は町民への福祉的金額と町外者への通常金額の2本立てにすべきでは。

か、政策の展開方針について、将来を見つめた調査検討を進める。

**問** 待機児童ゼロを達成したが、さらなる定数増計画は。

**答** 町長 町では、4月に待機ゼロを達成した。今後さらなる定数の拡大を計画。

**答** 健康子育て課長 本年度に第二保育園を増築し、10人の定員増。令和4年度までに第五保育園を建て替えて、約40人の定員増を計画。

**答** 産業観光課長 振興公社を中心に、経営の在り方や町民と町外者の区別の方法など、町も協力して検討する。

**問** 町の観光開発には、振興公社の発展が不可欠。振興公社とリポートピア吉岡の将来像は。

健康子育て課長 令和3年度では、収容基準を最大限活用し、20人の定員増。また、法人による児童クラブ運営開始で15人ほど定員増。令和4年度では、明小小学校区に新児童クラブを建設し約85人の定員増を計画。

**問** 待機ゼロが未達成の学童クラブ。今後の実行計画は。

**答** 町長 観光開発には町や公共団体の枠を超えた組織が必要。現在の組織は振興公社のみ。公社にどのような取り組みが可能

健康子育て課長 令和3年度では、収容基準を最大限活用し、20人の定員増。また、法人による児童クラブ運営開始で15人ほど定員増。令和4年度では、明小小学校区に新児童クラブを建設し約85人の定員増を計画。



ひろしま 廣嶋 たかし 隆 議員



録画映像はこちらをCHECK

# これまでの林道事業費は

## 【答】全体の合計額は、8,055万9千円

**問** 林道栗籠井堤線のこれまでの事業費について、県と町に分けて説明を。

**答** 産業観光課長 平成29年度からこれまで、県補助金の合計は4016万5千円。

同じく町負担の合計は4039万4千円で、全体の合計は8055万9千円。

**問** 残土処理場の開発申請と許可日、内容は。

**答** 産業観光課長 林地開発許可申請は平成30年2月8日付で県知事あてに、許可日は平成30年5月24日付で県より許可。開発の

目的は残土処理場で令和4年5月24日完了予定。

**問** 残土処理場の開発許可を認めなければ、県道まで林道として整備されたのでは

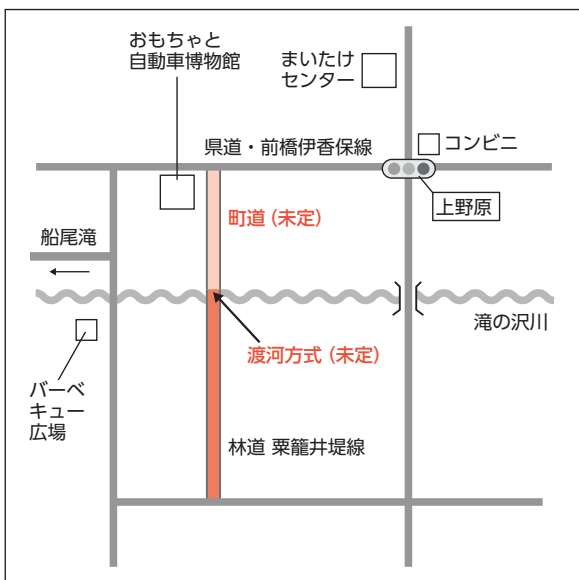
ないのか。

**答** 産業観光課長 林地開発により、利用区域の民有林地面積が減少し、林道として

の整備はあきらめる状況となり、町道としての整備に方針転換した。

**問** 町長は、この町道を造る気があるのか。

**答** 町長 現地の状況など改めて確認して、今後の道路整備の手法・方向性を見出していきたいと考えている。



町道と渡河方式が未定（栗籠井堤線の概略図）

## ICTで教員はどう変わるのか

**答** 伝達者から、身に付ける指導へ

**問** ※ICT教育になつて、教員はどのように変わるのか。

**答** 教育長 教員は、「知識・技能」の伝達者から、子どもたちに「多様な考えを出し合い、試行錯誤しながら、自ら考え、自分の考えを固めていく力」を身に付ける指導をする教員への変革が求められると考える。

**問** 教員のICTスキル育成の方針は。

**答** 教育委員会事務局 県の研修や各種資料なども活用しつつ、ICTに強い教員が中心となつて、授業の中で効果的な活用方法など、ICT化全般に対するすべての教職員のスキル向上を図っていききたい。

**問** 文科省の方針を受けて、学校の働き方改革は。

**答** 教育長 これまでの部活動は、教員の長時間勤務の要因で、負担軽減を図るため、平日の「学校部活動」と、休日の「地域部活動」を、区別しながらお互い連携を図り、取り組めることが理想となる。

**問** 週刊誌に掲載されたコロナ時代の移住先ランキングで、吉岡町が関東エリアトップになったが、町長の見解は。

**答** 町長 町の将来性などが評価され、光栄で喜ばしい。住みやすい町、住み続けたい町を目指し、一層努力していきたいと思つている。

### ミニ解説

※ICT教育 情報通信技術を活用した学校教育。1人1台の情報端末による教育を、文科省が積極的に推進している。



こばやし しずや 小林 静弥 議員



録画映像はこちらをCHECK

# 休校措置での時間的負担はないか

**問** 休校措置で不足した授業時間、部活動の練習時間を取り戻すために、生徒に休日や放課後の時間的負担はないか。

**答** 教育委員会事務局 長 町立の学校では、年度内にはほとんどの学習内容について履修を完了できる見込み。放課後授業や土日登校の必要はない。

# 年度内には履修を完了できる見込み

**問** 生徒・教師・保護者に過度な負担がかかっているか。

**答** 教育長 年度途中から吉中に学習支援や消毒、事務的仕事の補助として学習指導員2人、スクールサポートスタッフ1人を追加配置。保護者の負担については、部活動の練習や対外試合が適切に行われるよう配慮。



想定より早く設置された地域住民待望の右折信号機 (小倉中央交差点)

**問** 情報端末のセキュリティや、教育上ふさわしくないサイトへのアクセス制限などは。

**答** 教育委員会事務局 長 アクセス制限をより細かく設定でき、セキュリティを向上させるためのフィッシングソフトの導入費用を、今回の補正予算に計上。

**問** 高齢者特殊詐欺被害防止の取り組みは。

**答** 町長 令和2年4月より、特殊詐欺

対策電話機等購入費補助金交付事業を開始。

**問** 町道下野田・下小倉線の舗装補修予定は。

**答** 町長 令和2年度は、県道前橋伊香保線との交差点付近から北側に約250メートルの間の舗装補修工事を実施。多くの児童・生徒の通学路のため、舗装補修工事を優先的に実施すべきと認識している。

**問** 子どもたちの安全安心を守るため、防犯灯設置など、地域

**答** 総務課長 洪川警察署交通課からの連絡で、令和3年の1月末頃までに設置されることが確認できた。

**問** 総務課長 検討中だが、町制施行30周年の冠事業を織り交ぜながら展開したい。雑誌の移住先ランキングでカルチャ

**問** 町制施行30周年記念式典の具体的なイベントは。

**答** 総務課長 検討中だが、町制施行30周年の冠事業を織り交ぜながら展開したい。雑誌の移住先ランキングでカルチャ

**答** 総務課長 町としての把握し得る限りの対策などを取っていききたい。

**問** 高渋バイパス右折信号の設置は

**答** 町長 令和3年1月末頃までに設置

**問** 県道高渋渋川線バイパスの交差点における右折信号の設置については、自治会からの要望が何度も上がっていると思うが。

**答** 総務課長 町の項目が低かった。吉岡町の自慢できる文化を学べるような教育が小・中学校でされているか。

**答** 教育長 地域の伝統・文化や発展に尽くした先人の働きなどを具体的に学び、地域社会に対する愛情を養うことを目的として、小学校の3・4年生の授業で副読本「わたしたちの吉岡町」を活用。令和2年度は三津屋古墳をイメージしたペーパークラフトキットの両小学校の希望者へ配付なども実施。